

コンプライアンス

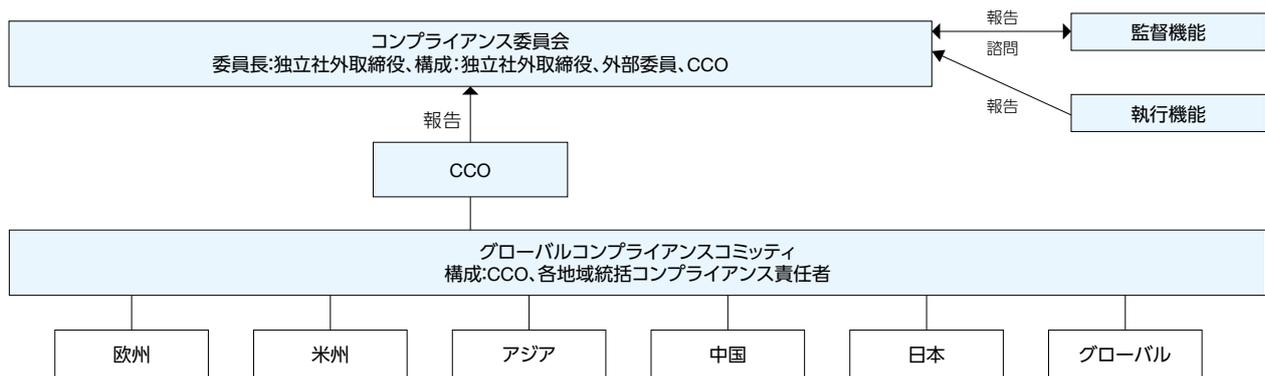
コンプライアンスの推進

オリンパスグループはいかなる場面においても、コンプライアンス上の懸念を看過しない組織を整えるとともに、その状況を把握し、さらなる強化に努めています。また、医療事業という人命に関わる製品を提供する企業の責務として、常に高いレベルでの製品安全、品質およびサービス等を保持し、世界各国の法規制を遵守すべく当社独自の規程の整備を行い、周知徹底や教育を実施しています。

コンプライアンス推進体制

オリンパスは、コンプライアンスに関わる責任を明確にすべく、コンプライアンスの統括責任者としてチーフコンプライアンスオフィサー（CCO）を任命しています。取締役会の諮問機関として、独立社外取締役を委員長としCCOや外部委員で構成されたコンプライアンス委員会を設置し、また、コンプライアンスに関わる方針や施策の展開、統括地域の状況や課題の把握、必要な是正措置の実施を目的に、各地域統括のコンプライアンス責任者で構成されたグローバルコンプライアンスコミッティを組織しています。これらを原則四半期ごとに開催し、連携することで、コンプライアンスの強化に努めています。

コンプライアンス推進体制図（2019年6月末現在）



内部通報制度

オリンパスグループは、コンプライアンスに関する問題を相談または通報する窓口として社内外に「コンプライアンスヘルプライン」を設置しています。匿名での利用が可能のほか、案件情報に関する秘匿性の確保や不利益扱いの禁止なども社内規定に明文化され、通報者の保護に努めています。2019年4月には、既存の「コンプライアンスヘルプライン」に

加え、新たにグローバル通報受付窓口「インテグリティ・ライン」を開設しました。「インテグリティ・ライン」は社外の専門会社により運営されており、秘匿性が確保されています。法律で認められない国を除き、匿名での通報も可能となっています。

コンプライアンス教育

オリンパスは、コンプライアンス意識の醸成と、重要法令や社内規則などの理解促進と遵守徹底を目的に、コンプライアンス教育の充実を図っています。国内では、コンプライアンス推進部署がさまざまな対象者に最適なツールを用いて教育を実施しているほか、重要法令を主管する部署が該

当法令の特性に沿って受講対象者や実施方法を決定した上で、教育を実施しています。海外においても、各地域統括会社単位で計画的かつ体系的にコンプライアンス教育を行っています。